

## 平成18年度 まちの予算

日本経済は、景気の拡大期間が続いており、すでにバブル期を超え、戦後最長の『いざなぎ景気』をも超えるとの予測も出ていますが、『地域間格差の拡大』という言葉に象徴されるように、大都市圏での景気の改善が目立つ一方、地方などへの広がり弱く、北海道の経済を見ると個人消費が緩やかな持ち直しの動きにとどまるなど、依然として厳しい経済環境にあります。

このような中、登別市の平成18年度当初予算は、景気低迷や固定資産の評価替えなどによる市税収入の落ち込みや実質的な地方交付税の削減など財源の確保が厳しくなることが見込まれる状況にあつて、職員数の削減や市独自の職員給与の減額などによる人件費の縮減、補助・助成金の見直し、事務事業の見直し、民間委託の積極的な推進を行うなど、経費全般にわたる徹底した節減合理化に努めました。

一般会計の主な歳入では、市税が49億6千196万円（対前年度比4.5%減）、地方交付税は50億3千200万円（同0.5%減）で、臨時財政対策債と合わせた実質的な交付税は55億6千390万円（同1.5%減）、市債は市営住宅建替事業充当債や登別温泉中央通り改良事業充当債など11億9千530万円を見込むほか、財政調整基金積立金から6億7千800万円、減債基金から1億7千938万円を取り崩すなどして、厳しい財政状況に対応します。

一般会計の主な歳出では、必ず支出しなければならない義務的経費について、人件費が4千475万円、扶助費が7千206万円がそれぞれ減少しましたが、公債費は8千830万円増加しました。

都市基盤整備など公共事業のために支出する『投資的経費』は、1億6千196万円減少（道道整備にかかる受託事業を除いた実質的な投資経費では2千090万円減）し、13億5千588万円となりました。

登別市の平成18年度当初予算総額は、全会計で405億5千930万円となりました。その内訳は、一般会計が197億6千400万円、6特別会計の合計が192億8千550万円、企業会計が15億980万円となっています。

## 『一般会計歳入』

- ◎市税…市民税や固定資産税、都市計画税、軽自動車税、市たばこ税、特別土地保有税、入湯税があり、市の収入の約4分の1を占めています。
- ◎地方交付税…市が行わなければならない行政サービスを実施するため、財政状況に応じて国から配分されるお金。
- ◎使用料及び手数料…ごみ処理手数料や建築確認手数料、戸籍手数料など、利用した方が納める受益者負担金。
- ◎国庫（道）支出金…交付金や補助金、委託金があり、市が事業や事務を行うために国や道から交付されるお金。
- ◎繰入金…基金（家庭でいうと貯金）を取り崩して使用するお金。
- ◎諸収入…貯金の利子や貸付金の回収元金、利子、福祉施設に入所している方に負担金として納めていただくお金など。
- ◎市債…施設や道路などを整備する際、通常の財源だけでまかなうのが困難なため、借り入れするお金。
- ◎その他…自動車重量税や消費税などの税金の一部が国から交付されるお金など。

## 『一般会計歳出』

- ◎議会費…市議会に関することに使うお金。
- ◎総務費…国際交流や各地域との交流、広報広聴活動などに使うお金。
- ◎民生費…福祉に関することに使うお金。
- ◎衛生費…健康の増進や病気の予防、ごみの処理などに関することに使うお金。
- ◎労働費…労働に関することに使うお金。
- ◎農林水産業費…農業や水産業に関することに使うお金。
- ◎商工費…商工業に関することに使うお金。
- ◎土木費…都市基盤整備に関することに使うお金。
- ◎消防費…火災や救急業務に関することに使うお金。
- ◎教育費…教育に関することに使うお金。
- ◎公債費…借入金の返済に使うお金。
- ◎給与費…職員の給与に使うお金。
- ◎予備費…予備のお金。

## 特別会計・事業会計

### 『国民健康保険特別会計』

国民健康保険加入者の医療費の一部助成や各種検診の助成、健康づくりなどの事業を行います。

### 『学校給食事業特別会計』

子どもたちの栄養を満たすことができるおいしい給食を市内の小・中学校や保育所に調理・配送します。

### 『公共下水道事業特別会計』

都市基盤整備の一環である公共下水道を整備します。本年度は、登別方面の下水道を整備します。

この整備で、登別市の下水道普及率は約87%、整備面積は約1,036㎡になります。

若山浄化センターは、平成16年度から引き続き汚水処理施設の増設（3カ年計画）を行います。

公共下水道整備区域外となる『個別排水処理区域』では、住民の要望により、市が浄化槽を設置・維持管理をする『個別排水処理施設整備事業』を行います。

### 『老人保健特別会計』

高齢者の医療費負担を軽減するため、医療費の一部助成などを行います。

### 『簡易水道特別会計』

札内地区などの飲料・営農用水施設の整備を行います。

### 『介護保険特別会計』

介護が必要な高齢者などを対象に、在宅や施設での介護サービスを行います。

### 『水道事業会計』

安全で良質な水の供給やポンプ場の建設、送配水施設の整備などを行います。

## 各会計予算総括表

(単位：万円・%)

会計区分	平成18年度 当初予算額	平成17年度 当初予算額	比較増減	伸率 (%)
一般会計	1,976,400	1,965,200	11,200	0.6
特別会計	1,928,550	1,840,180	88,370	4.8
国民健康保険	612,360	592,310	20,050	3.4
学校給食事業	33,420	34,130	△ 710	△ 2.1
公共下水道事業	316,710	278,390	38,320	13.8
老人保健	673,700	653,560	20,140	3.1
簡易水道事業	4,260	4,980	△ 720	△ 14.5
介護保険	288,100	276,810	11,290	4.1
水道企業会計	150,980	149,860	1,120	0.7
収益的支出	92,530	93,970	△ 1,440	△ 1.5
資本的支出	58,450	55,890	2,560	4.6
合計	4,055,930	3,955,240	100,690	2.5

## 一般会計歳入

(単位：万円・%)

費目	平成18年度		平成17年度 当初予算額	比較増減	伸率 (%)
	当初予算額	構成比			
市税	496,196	25.1	519,591	△ 23,395	△ 4.5
地方交付税	503,200	25.5	505,700	△ 2,500	△ 0.5
使用料及び手数料	63,353	3.2	69,697	△ 6,344	△ 9.1
国庫支出金	230,748	11.7	257,051	△ 26,303	△ 10.2
道支出金	133,892	6.8	131,226	2,666	2.0
繰入金	147,361	7.5	105,548	41,813	39.6
諸収入	101,545	5.1	97,349	4,196	4.3
市債	119,530	6.0	116,450	3,080	2.6
その他	180,575	9.1	162,588	17,987	11.1
合計	1,976,400	100.0	1,965,200	11,200	0.6

## 一般会計歳出

(単位：万円・%)

費目	平成18年度		平成17年度 当初予算額	比較増減	伸率 (%)
	当初予算額	構成比			
議会費	16,622	0.8	16,864	△ 242	△ 1.4
総務費	88,017	4.4	92,622	△ 4,605	△ 5.0
民生費	594,050	30.1	577,415	16,635	2.9
衛生費	125,551	6.3	121,259	4,292	3.5
労働費	10,351	0.5	12,090	△ 1,739	△ 14.4
農林水産業費	28,755	1.5	7,005	21,750	310.5
商工費	34,688	1.8	32,996	1,692	5.1
土木費	222,531	11.3	251,761	△ 29,230	△ 11.6
消防費	8,967	0.5	11,908	△ 2,941	△ 24.7
教育費	97,990	5.0	97,592	398	0.4
公債費	314,603	15.9	305,794	8,809	2.9
給与費	429,275	21.7	432,894	△ 3,619	△ 0.8
予備費	5,000	0.2	5,000	0	0.0
合計	1,976,400	100.0	1,965,200	11,200	0.6